

# 令和6年度 八児中学校部活動のきまり

北九州市立八児中学校

## 1 部活動の意義・目的

・・・・ 心と体を鍛え、支えあい励ましあう仲間をつくる・・・・

部活動は、共通の興味・関心をもった生徒集団による活動です。練習による技術の向上だけでなく、自主性・集中力・忍耐力・責任感などを育み、チームワークの大切さや多くの人たち(他校生、保護者や活動に関わる方々など)とのふれ合いの大切さを理解し、心身ともに健康に成長することを目的としています。他の生徒の模範となるような生活態度を心がけましょう。

## 2 部活動と生活（大きな成果を得るために）

・ 服装、頭髪、その他の学校生活のきまりを守る。

「あたりまえのことがあたりまえのようにできる」人こそ部活動でも頑張れ、自己を高められる人です。学校生活を含め集団のルールを守ってよりよい部活動にしましょう。

・ 清掃活動、学級の仕事や家庭での仕事に積極的に取り組む。

何事に対しても積極的に取り組む姿勢がなければ、部活動においても成長は期待できません。日々の生活においても一生懸命に活動に参加し、進んで取り組みましょう。

・ 顧問(指導者)の指示・指導を守る。

顧問教師(指導者)の指示・指導に従って活動しましょう。

・ 授業・提出物・家庭学習をおろそかにしない。

学校生活の中でもっとも大切なものは学習です。授業中に居眠りなどをして真剣に取り組む気持ちのない人や、提出物を出さない人は、部活動はできません。授業を真剣に受け、時間を大切にし、自己をより高めていきましょう。

## 3 日常の活動上のきまり

A <マナーについて>

日々、礼儀正しくきちんとした挨拶をしましょう。常に部や学校を代表しているという意識で、きちんとした行動を心がけましょう。

様々な人に支えられ応援されているからこそ自分が好きな活動ができていること、その感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。

B <部活動休養日および活動時間について>

毎月第3水曜日は部活動休養日です。週末の週休日はどちらか1日を休みにします(週に2日は休養日を設ける)。定期考査前1週間は試験休みです。朝練習は顧問指導の下、8時10分までの活動とし、8:25までには教室に入ります。朝練は、平日2時間程度の練習時間を含みます。活動時間は平日は2時間程度、土日は3時間程度とします。大会やコンクール等の直前については、別日に休養日を設定する場合があります。

C <活動着や荷物について>

平日は標準服もしくは部活動で決められた服装で帰宅します。学校が早く終わって、再登校する場合も同様です。休日の活動の場合は部によって異なります。必ず顧問教師の指示に従ってください。また、休日でも自転車による登下校や移動は禁止しています。

D <体育館・グラウンド・その他の施設や道具について>

体育館使用後はモップがけ、グラウンド使用後はグラウンド整備、心明館使用後は掃き掃除を必ず行います。雨天などでグラウンドの状態が悪い時は、顧問教師の指示を受けて使用します。使用した道具は元の場所に返します。鍵なども含め、物は必ず大切に使用・管理しましょう。

E <上級生と下級生について>

社会を生きていく上で、人間関係を大切にできない人は、周りの人から大切にしてもらえません。下級生への技術指導においては、上級生の立場を自覚して愛情と誠意をもって指導にあたります。下級生に私的な用事や、不必要な挨拶をさせたりすることなどがないように心がけましょう。指導の際にいじめがあったり、暴力があったりしては絶対にいけません。お互いにその立場を自覚して、敬意をもって接するように心がけましょう。

F <部室や教室の使用について>

部室は、着替えや活動に必要な道具の保管場所として利用を許されている場所です。私物を置いたり落書きをしたりしてはいけません。また、使用後は必ず施錠します。

教室を使用する場合は、学級担任の許可を得てから使います。使用後は部長が責任を持って後片付けをしましょう。「使う前よりも美しく」の意識が大切です。

G <昼食について>

給食がない日の午後から活動を行う場合は、昼食を持参しましょう、顧問教師が指示した場所で、正しいマナーで食事をします。食事後の後片付けはきちんとしましょう。

校外に買いに行くことは禁止です。

H <日常生活との関わりについて>

心身ともに健康でなければ活動はできません。授業時間に保健室で休んだり、体育の授業を見学したりした場合は、その日の活動に参加できません。

登下校中の買い食いは厳禁です。

部内での問題行動等が起きた場合は、本人の活動停止や、部全体の活動停止もあり得ます。そのようなことが起きないように十分気を付けて学校生活や練習を行いましょう

I <部活動の継続について>

一度入部するからには、いろいろな困難や苦労があっても、それを乗り越えることによって心身を鍛えることが望ましいです。三年間やり抜く強い意志を持ち入部しましょう。

## 4 連携部活動について

活動校への移動は原則徒歩とします。(徒歩で移動できない場合は、在籍校と受入校との協議のうえ、相談して決定します。)また、活動校、在籍校の先生の指示よく聞き活動しましょう。大会参加については、中学校体育連盟や文化連盟、各競技団体の規定に則って行います。